

**生活支援体制づくり協議体（地域包括支援センター板屋
担当圏域レベル）開催報告書**

1 開催日時	令和 7 年 1 月 24 日 （ 金 ） 14 時 00 分 ～ 15 時 30 分
2 開催場所	アイミティ浜松 ホール
3 参加者	32 名 委員21名、関係機関11名
4 協議の内容	1. 開会 2. 挨拶 板屋圏域生活支援体制づくり協議体会長 3. 協議内容について ① 前回会議の振り返り 前回会議での協議について振り返りを行った。 ② 前回以降の取り組み 1. 令和7年1月22日（水）「認知症サポーター養成講座」ときわ薬局 常磐町・ときわ薬局コミュニティスペースにて、地域包括支援センター板屋が講師となり、「認知症サポーター養成講座」が開催された。認知症に興味関心のあ る地域の方々が「認知症とは？」「認知症との接し方と気を付けたいこと」等を 学んだ。 2. 令和7年1月23日（木）「安全・健康講座」ふれあい交流センターいたや 板屋町にあるふれあい交流センター板屋にて、浜松市ウェルネス推進事業本部の 方々を講師にお呼びし、「安全・健康講座」を開催。地域の方々が「介護予防・ 生活習慣病予防・そして認知症の予防の効果がある歩き方」を学んだ。 3. 令和7年2月5日（水）「認知症講座」第六高砂クラブ・第三高砂クラブ 協議体会議での「認知症」に関する協議がきっかけとなり、砂山町シニアクラブ が「認知症講座」を開催することとなった。広く地域の方々に参加してもらえる よう回覧板等で周知をしている。当日は講座と脳を鍛えられるような体操を行う 予定。 ③ 認知症家族会の取り組み ー地域包括支援センター板屋 認知症家族会「話爽会（はなそうかい）」の開催は、以前から行われていた家族 介護教室のアンケートで参加希望者が複数人確認できたことから始まった。 対象は、認知症のある方・介護されているご家族・関心のある方。会場は二部屋借 りているため、認知症のある方は介護者と離れた場所でスタッフとゆっくり話をす ることができる。 今後包括から徐々に地域の方主体に移行していくことを目指している。

- ④ 江東カフェ「あゆみ」について ー地域包括支援センター板屋
毎月第4木曜日を「江東カフェあゆみ」の日として設定し開催をしている。
江東カフェ「あゆみ」は、認知症の人やその家族、地域住民、専門職など、認知症に関心のある誰もが気軽に参加できるコミュニティの場として、地域にとって大切な居場所になっている。
- ⑤ はままつオレンジ体操について
適度な運動をすることは、健康寿命を延ばすことや認知症を予防することにつながることから、聖隷三方原病院でつくられた「いつでも、だれでも、どこでも」できる体操＝「はままつオレンジ体操」を情報共有、委員が実際に体験した。
4. グループワーク
グループワークを実施し意見交換を行った。
5. 連絡事項
特になし。
6. 閉会 板屋圏域生活支援体制づくり協議体副会長

5 今後の見通し・ 必要な対応

今回会議では、これまでの「認知症」に関する情報提供や取り組みの振り返りを行った。今回三件報告があったように、認知症講座のような認知症啓発事業は地域に広まってきていると考えられる。

しかし、そのような地域住民を広く対象にした講座、また健康維持につながる地域のサロン活動等にはいつも同じ方が参加されるなど、地域でのイベント開催にあたっては人を集める難しさがある。今後、活動に地域住民を巻き込んでいく工夫などについても検討していきたい。